

木区 宝地公民館だより



7月23日（日）宝木っ子まつりの様子（船磯海岸）
総勢140名の参加で盛大に開催されました。

青少年育成部

宝木っ子まつりに参加して

宝木小学校 5年

柴田 瑛斗

ぼくは、宝木っ子まつりといったら、砂像というイメージがあります。

ぼくは、より作りがいのあるテーマにしました。今回は、「ぴよん吉」を選びました。作りはじめると、グループのみんなが手伝ってくれたのでうれしかったです。時間切れになっても続けて、今までにないほど、より詳細に、より立体的に仕上がりました。また次の宝木っ子まつりでも、きれいに砂像を作りたいです。

奥沢見子ども会

水田 道宏

今年も息子と「宝木っ子まつり」に参加しました。最初の砂像づくりでは、小学校1年から6年までの混合チームで各チームに与えられたテーマを協

力して作りました。自分たちのチームはど根性ガエルの「ぴよん吉」と結構難易度の高いテーマとなり、高学年を中心にみんなが一生懸命作っていました。4年生の息子も高学年の指示に従い、邪魔をしないよう（笑）簡単などころを削っていました。その後の魚のつかみ取りでは、なかなか体験出来ないこともあり、息子も大はしゃぎで尻餅をつきながら頑張って魚と格闘していました。最後はチームに分かれて水鉄砲でトイレットペーパーを切り落とすゲームでした。こちらも仲間と協力してわいわい楽しそうに参加していました。

夏の日差しが熱い中、色々と企画、準備運営頂き、実行委員の方々には本当に感謝致します。ご苦労様でした。お陰で親子共々、夏の楽しい一時を過ごした。良い思い出ができました。

わくわく泊り隊

7月31日から8月2日まで、2泊3日公民館に泊まりながら、様々な生活・自然・社会体験を行い、地域のボランティアの方々に、子どもたちの見守りやサポートなどを協力していただき実施されました。

宝木小学校 5年

山下 紋佳

楽しみにしていた泊り隊で、たくさん思い出ができました。



協力しながら食事の準備

みんなと協力して作ったごはんはとても美味しく、とくに冷やしうどん・キャベツとベークンのスープは最高でした。体験で楽しかったことはたくさんあったけどその中で一番楽しかったことは、ジェルアクリウム

です。色の砂や貝やおはじきを自分で考えてビンに入れて作って



ジェルアクリウム作り

たことや、夜の花火もみんなできて楽しかったし、ちょっとこわくて泣いちゃったきもだめしも最後までがんばりました。酒津でのいそ遊びでもぐって石を拾ったり、泳いだりしている、魚がたくさんいました。

2泊3日でいろいろな体験ができたし、みんなと協力しながら楽しく過ごせました。来年も泊り隊に参加したいです。

宝木小学校 5年

村上 誠直

ぼくは、7月31日から8月2日までの3日間わくわく泊り隊に参加しました。公民館に着いた時「とうとうこの日やって来たな」とわくわくしてきました。

ぼくが、一番楽しかった事は、河内川での自然体験カヌーでした。始めにB&G



河内川でカヌー体験

指導員の西尾さんからオールの使い方や、カヌーに乗る時ひっくり返らないように指導をしていただきました。カヌーはスイスイ進んでぼくは、もっと速くこぎたいなと思いました。大龍院での肝だめしがこわかった事、火おこし体験でなかなか火がつかず「何がなんでも火をつけたい」とがんばった事、



舞ギリ法で火おこし体験

いろいろな思い出が出来た3日間でした。公民館の方、いろいろな手伝いをしてくださった地域のみなさんありがとうございました。

わくわく泊り隊ボランティア

上川 弥香

今年も、もの作り体験のボランティアをさせていただき有難うございました。

30代のおばちゃんが子どもたちの前に立ち、受け入れてもらえるのか毎回緊張しますが、子どもたちは寛大で、いつも子どもたちに助けてもらいなから進んでいます。



仕事柄、子どもたちの個性を活かすことを大切にしています。アートというものは、その子の心の内面が現われやすいものです。だからこそ、好きなところと苦手なところも全て受け止めながらその子がやりたいことを一緒に考えました。作品が出来上がると皆が見せにきてくれたので、良かったところや頑張っていたところを伝えました。やっぱり、皆、最高です!!

毎回、実行委員の皆さんが子どもたちの為に、楽しい企画を考えて下さり、宝木校区の子どもたちは愛されてるなど改め

て感じました。

地域で育てる事、大切ですね。感謝。

文化部

陶芸教室で器作りを

楽しんでいきます

早稲田 僚子

仕事を退職したらやりたかった一つが陶芸でした。公民館で陶芸教室がある事は行事日程や文化祭での作品展示等で知っていました。参加する・・・って言う所まで至らなかつたのですが職員の方からお誘いを頂き、今年度より念願の陶芸を始めました。

初めての作品は、中皿2枚と木の葉形皿2枚です。



土を練り、伸ばし、型にあて模様を付ける手法で1回目を終了し、2回目に釉薬を付け窯入れをしました。出来栄は私の想像以上でした。

先生の親切な指導のもと、器を中心に製作を楽しんでいます。焼き具

合によつて釉薬の色彩が変わったり、色の組み合わせで仕上がりが変わるところに楽しさを感じています。



自分で作った器を使うとき、妙にわくわくして自画自賛しています。次回は、来年の干支「イヌ」を製作予定だそうです。干支ものは頂くものでしたがこれからは作るものになります。楽しみです・・・!!

女性部

手づくりで梅干漬

佃 友恵

公民館で梅干漬けの講習を受けて以来毎年手づくりで漬けるようになりました。

幼い頃亡き母がよく作ってくれました。梅干漬け、らっきょう漬け、おいり、ちまき等々懐かしく思い出します。



6月24日 塩漬け作業

梅干の作り方は、一晩水に浸した青梅をザルに上げ水分をしっかり拭き取ります。帯へたを取

り、好みの塩加減で塩を梅の表面にすり込み、水分が出て来て梅と塩がしっとりとなじむ様にします。(1つ目のポイント)梅酢が上がったらしそを入れます。

それを2、3週間塩漬けします。梅雨が明けたら梅としそを取り出し、2、3日土用干しします。(2つ目のポイント)



天日干しにすることで、ぽつぽつと柔い美味しい梅干になります。

今年も美味しい梅干が出来上がりました。自分で出来るうちは手作りで楽しみたいと思っています。

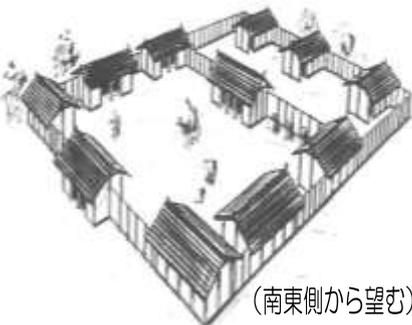
じげ自慢

上光戸島遺跡

上光 Oさん

上光コミュニティセンター西側の田んぼにそれはあった。

昭和61年、圃場整備事業による工事の最中に、遺跡の一部が発見された。



(南東側から望む)

コンピューターによる戸島遺跡役所の復元イラスト

この遺跡について、「上光遺跡郡発掘調査報告書」によると、

戸島遺跡は、東西45m、南北約55.5mの方形の区画で、溝、堀によって囲まれており、整然とした建物配置から、気多郡の

成立以前の白鳳時代の役所施設の跡だと考えられる。

この遺跡のような建物配置

をとる例に、白鳳時代の難波宮なにわのみや

(大阪市)跡がある。難波宮では、多くの人々が参集して国家の重要な儀礼が行われた。このため特に、中央の広場を広く作ってあった。

戸島遺跡でも、これに倣って様々な儀式、宴、或いは裁判などが行われていたことが考えられる。

発見当時は珍しい遺構でコースになったことを記憶している。現在はそれを思わせるものはない。ただ、上光コミュニティセンター入り口にある、集落の案内標識のデザインになっている。

上光のシンボルとして。



第37回 宝木地区文化祭のお知らせ

10月21日(土) (午後:作品展示のみ)
10月22日(日)

勤労者体育館及び宝木地区公民館敷地内において
宝木地区文化祭が開催されます。

作品展・芸能発表・フリーマーケット・野菜市など賑やかなイベントに参加して頂ける方、グループを募集中です。お気軽にお問合せください。

編集後記

上期公民館だよりが出来上がりました。発行にあたり、多くの方々に協力して頂きました。厚くお礼申し上げます。下期には更に見やすく、皆さんの近くある公民館だよりに行きたいと思えます。これからも、皆さんの公民館事業への積極的な参加をお願いします。